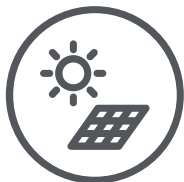


# あいちペロブスカイト太陽電池ビジョン



## 愛知県の温室効果ガス排出削減目標とペロブスカイト太陽電池の位置付け

- ✓ 愛知県は、「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）」に基づき、2030年度の温室効果ガス排出量を46%削減（2013年度比）し、2050年までにカーボンニュートラル達成を目指す目標を掲げている。また、再生可能エネルギーを2021年度比で1.7倍にする目標を掲げており、太陽光発電の導入量を1.43GW上積みする必要がある。
- ✓ 次世代型太陽電池である「ペロブスカイト太陽電池（PSC）」は、従来のシリコン系太陽電池では設置が難しかった耐荷重の低い屋根や壁面等にも活用でき、導入量を飛躍的に増加させる可能性がある。



## PSC普及拡大に向けた方針と目標

- ✓ 愛知県は、全国一のモノづくり県であり、産業集積地である強みを活かし、PSCの普及拡大に向けたサプライチェーンを構築し、公共施設を始め、工場、倉庫、商業施設、その他建築物や社会インフラ等へPSC導入を積極的に進める。
- ✓ 【目標】2040年までに1.2GWのPSCの導入を目指す。

## 目標の実現に向けた方向性

### 県内生産の推進

全国一の製造品出荷額等を誇るモノづくり県である強みを活かし、PSCパネル始め関連資材の県内生産を進め、効率的なサプライチェーンを構築する。

### 自動車産業等との連携

世界的な自動車産業拠点である強み等を活かし、車載型PSC等の新たな用途開発にも取り組む。

### リサイクルの推進

使用済みPSCの適正な処理と資源リサイクルに向けた情報収集・発信を進める。



### 多様な施設への導入

大都市圏である強みや製造業を中心とした産業集積性を活かし、公共施設を始め、工場、倉庫、商業施設、その他建築物や社会インフラ等へ積極的にPSC導入を推進する。  
従来のシリコン系太陽電池では設置が困難であった耐荷重の低い屋根や壁面、建材一体型等、施工技術を確立し、導入を拡大する。

### メンテナンス手法の確立

耐荷重の低い屋根、壁面、建材等、多様化する設置場所に対応したメンテナンス手法を確立する。

## 県内での普及拡大

※ プロジェクトの進捗や外部環境動向等を踏まえ、適宜見直すこととする。